

# 【社会 中3 「私たちの暮らしと経済」】

## 育成を目指す資質・能力

ねらい：模擬株式投資を通して、投資をする際に重視すべき視点について話し合うことで、企業の役割や責任、投資や株式の仕組みについて多面的・多角的に考察することができる。

## ICT活用のポイント

投資先や投資金の割り振りについて個やグループで考え、表計算ソフトやアンケートツールで即時に集計・可視化しながら、投資先の傾向や変容、全体の特徴を的確に捉えることで、根拠を明確にして意思決定や合意形成する。

### 【つかむ】

前時までの流れを確認し、  
本時のめあてをつかむ。

6企業の銘柄について、どのような視点を重視して、1000万円の投資金を割り振るとよいただろうか。

### 【追究する】

模擬株式投資を行う際に、  
どのような視点を重視して  
投資をすべきか課題解決する。

### 【まとめる】

本時のまとめを行い、学習  
内容を振り返る。

## 事例の概要

問題解決的な単元構成において、実在する6企業について「事業内容」「社会的責任」「経営戦略」「労働環境」の視点をもとにP Rスライドを発表し合い、これを資料として個やグループで重視すべき視点を考えながら、よりよい納得解が得られるような投資先や投資金の割り振りについて根拠をもって意思決定する。

## 事例におけるICT活用の中心場面

### 【事例におけるICT活用の場面① 集団解決】

○前時に自力解決したグラフ等を資料として、グループでよりよい納得解が得られるような投資先や投資金の割り振りを合意形成し、表計算ソフトを用いグラフ化する。

### 【事例におけるICT活用の場面② 全体共有】

○教師用端末で各グループの端末をライブモニタリングし、意図的指名に活かすことで、限られた時間内で様々な視点を表出させ、生徒の思考の流れを整理する。

### 【事例におけるICT活用の場面③ 個に返り、自力解決】

○全体共有を受け、個に返って、最終的な投資先と投資金の割り振りを意思決定させ、アンケートツールに入力させる。

### 【事例におけるICT活用の場面④ 全体での焦点化】

○アンケートツールに入力した各自の最終決定を、即時に学級全体で集計・グラフ化して共有させ、生徒の思考を焦点化する。

# 【社会 中3 「私たちの暮らしと経済」】

## 【事例におけるICT活用場面①】

### 1 集団解決する

A社は伸びている最中だから、まだ、安定しないのでは？



確かに、A社は魅力的だけれども、先が読めない。B社は大手電気通信企業だし、事業内容を見ても子会社が期待できるから400万円、投資するのはどうかな？

前時に自力解決した考えを表計算ソフトでグラフ化し、お互いに見せ合いながら、よりよい納得解が得られるように投資先や投資金の割り振りを**集団解決**する。**合意形成**した後、**表計算ソフト**で**グループ**としての考えを**グラフ化**した。

## 【事例におけるICT活用場面②】

### 2 全体共有する

7班はA社に対して、将来性よりも労働環境に注目して、多く投資しているようだけれども、これはどうして？



全体で各グループの考えを発表し合い、**多面的・多角的な考察**を広げた。教師は**集団解決**の様子から**継続的に教師用端末で各グループの端末をライブモニタリング**しておき、**意図的指名**に活用することで、**限られた時間内で様々な視点**を表出させ、**生徒の思考の流れ**を整理した。

【活用したソフトや機能】 ・大型モニター  
・表計算ソフト ・アンケートツール

## 【事例におけるICT活用場面③・④】

### 3 再度、自力解決する

現在の業績や経営だけでなく、SDGsや労働環境などの企業イメージや責任も踏まえて、投資先を考え直す必要があるな。



### 4 全体で焦点化する



全体共有後、一人一人に**自分の考え**を再構築するよう指示し、その結果を**アンケートツール**に入力させた。これにより、学級全員の考えを**即時に集計・グラフ化**し、学級全体の**投資先の傾向**や**変容**、**全体の特徴**を的確に捉えさせ、**焦点化**することができた。